

(資料1)

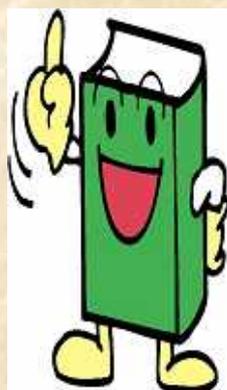
あなたの考えから、あなたの行動から生まれてくる小城市の“協働”の姿！！

ちょっと地域を見渡して、考えてみませんか？

まずは自分から…気づいたものからやってみよう！！

おぎし協働読本

～協働マニュアル～



小さいことから大きな発見が・・・

それは、地域に必要なことであると同時に自治体運営にも大きな変化をもたらす事かもしれません。

そのようなきっかけとなる活動の掘り起こしが、協働の浸透と事業推進に大きく影響し、引いては市民の皆様とともにつくる新たな小城市らしいまちづくりが見えてくるかもしれません。



絵でみる 協働の第一歩!!

～こんなことから生まれる協働(例)～

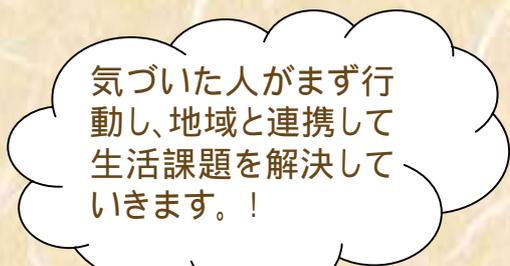
1.環境面

小城市は、ムツゴロウに代表される海「有明海」に面しています。

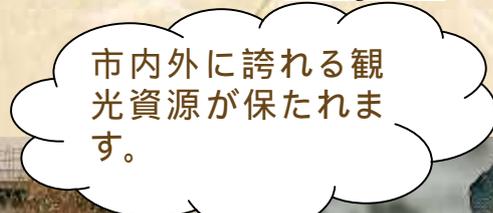
有明海は、シチメンソウ等貴重な動植物の宝庫です。

でも、梅雨や台風シーズンになると堤防沿いに生息している葦や木材、生活廃品などが大量に流れ、海岸にも堆積し、希少動植物の生態系、更には海苔等の生育へ影響を及ぼしています。

この堆積するゴミは、広範囲に渡り、中にはタイヤ等重量のあるものもあります。



3



シチメンソウ



ムツゴロウ

4

ちょっと考えてみましょう。

小さなゴミも気づいた人が拾うなど、環境問題等に対し皆が意識し、地域全体の問題として、解決に向け取り組むことも協働の第一歩ですよ。³⁸

～こんなことから生まれる協働(例)～

2.福祉面

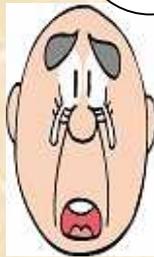
高齢化社会と核家族化の進行に伴い、独居老人家庭や1人世帯が増加し、現代社会においていわゆるご近所付き合いが希薄になり小さな市町においても近所に誰が住んでいるのか分からないという場面も見受けられます。

高齢化・核家族化の進行……。



1

ご近所付き合いも少なくなり、生活に悩みも……。



2

あいさつや触れあいが地域を元気にするきっかけに……。



3

それぞれが地域で目的を持ち行動するようになり、元気なまちに……。



4



ちょっと考えてみましょう。

あいさつや触れあいが地域を元気にするきっかけに……。それぞれが地域で目的を持ち行動するようになり、元気なまちに……。

例えば、「あいさつ隊」等を結成し、朝・昼・夜の計3回あいさつを交わすだけでも人と話す機会の少ない方々が、それを楽しみに待ち望んだり、それをきっかけに地域のまちづくり活動に顔を出し、生活する活力を見出すことにも繋がるのではないのでしょうか？

～こんなことから生まれる協働(例)～

3.防災面

毎年訪れる梅雨。この時期は、心・体共に憂鬱さや不快さを感じるとともに自然災害への危険性も増してきます。

1時間に相当量の雨量を記録するなど、各地域の川等では警戒水位を超え、床下・床上浸水の発生も心配される中、自ら対策しようにも労力が限られ、時には命の危険にさらされる場合もあります。

こんな時、あなたはどうしますか？

梅雨の時期、自然災害の発生が心配されます。



1

床上・床下浸水や家屋及び周りの施設の損壊が発生し、不安で危険です。



2

消防団やご近所の協力により、被害を最小限に食い止めることができますよね。



3

近くの人々の素早い協力によって、お互いに安全・安心な生活が保たれるのでは？



4



ちょっと考えてみましょう。

日頃から災害に備えた地域内での話し合いと連絡体制を整えるなどご近所と協力し、応急処置を施すことや地区消防団及び行政と被害拡大を防ぐため共に行動することも協働です。

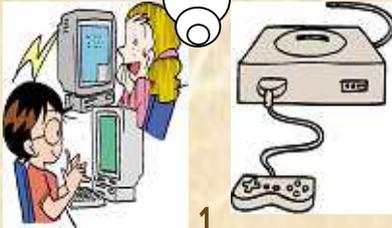
～こんなことから生まれる協働(例)～

4.教育面

近年のテレビゲーム等の普及により、人と会話する機会が減り、更にはどうすれば友達づくりができるか分からないなどといった諸問題もあるようです。

また、それらが身体に及ぼす影響は様々で将来を担う子ども達の人格形成に大きく関わりを持つものと考えられます。

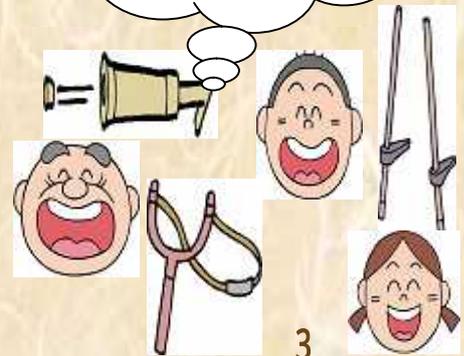
パソコン・インターネットの普及。顔と顔を会わせ、言葉で会話する機会が減少。



何をどう伝え、表現して良いのかわからない。



昔遊びを通してコミュニケーションの促進。



地域での交流を深める機会が増え、子どもも大人も相互に地域で守る意識が芽生えます。

ちょっと考えてみましょう。

地域に住む人達が持つ技術や昔からの伝統的昔遊びを子ども達に伝える機会を作りましょう。

4



地域に住む他の子ども達を知り、交流を深める機会となることはもとより、自分の存在を地域の方々に知ってもらうことでの満足感や日々の安全確保にもつながります。

子どもには、地域の異年齢交流による昔遊びを通して、敬いの心と地域を大切にしたいという心を育み、次代のまちづくりを担う人材の育成につなげることができるのではないのでしょうか。

～こんなことから生まれる協働(例)～

5.教育面

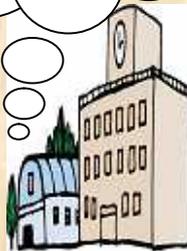
児童を対象とした声かけや連れ去り事案が多発する中、「地域の宝である子供達の安心・安全は、学校やPTA等に任せきりではなく地域で守る」ことを目指し、各地域においては、児童が安全に登下校できるような安心・安全な通学路づくりなどの取り組みが望まれています。

児童を狙う連れ去り事案が発生。



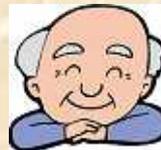
1

学校のみでの児童の安全確保には、限度があります。



2

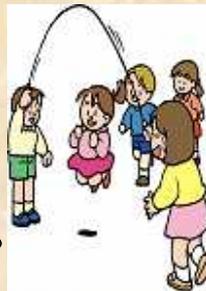
地域独自の見守り対策があればいいですね。



3



子供達も、登下校時のみならず、地域での活動の場が広がり、新たな地域づくりが始まります。



4

ちょっと考えてみましょう。

学校のみでの取り組みだけでは、全てに対応することはできません。地域の皆さんが、例えば下校時間に各家の表に出て、「お帰り」等あいさつを行うことで、地域の人を知り、地域とのかかわり方を知ることにつながるのではないのでしょうか？

例えば、地域で登下校時にご家庭にいらっしゃる方で「安心・安全送り迎え隊」などを組織し活動することで、地域としての一体感が促進され、地域ごとに危険箇所マップを作成する等安心・安全な地域づくりに寄与できるのではないのでしょうか？

～こんなことから生まれる協働(例)～

6.観光面

小城市には、山から海まで豊かな自然があります。

山には、江里山地区に代表される棚田や彼岸花をはじめ様々な観光資源がありますね。

それらを観光として支えているのは周辺の環境もあるのではないのでしょうか？

観光地周辺環境は、それがそのまま市のイメージに繋がることも考えられます。

このことから、ちょっと周辺に目を向けてみましょう。

道路ぎわにたくさん茂っている草。これらに気づいて一人で除草することは大変です。



棚田風景(小城市)



有明海風景(芦刈町)

観光客が多いのは良いのですが、マナーを守ることは必要ですね。

一人で悩むよりは…

地域それぞれ役割分担すれば、地域の力もパワーアップ!

皆できれいにしていると…豊かな自然が保たれると同時にゴミに対しての意識も変わってきます



1



2



3



4

ちょっと考えてみましょう。

周辺ご近所に呼びかけて意識づけし、大勢で協力して始めてみませんか？